



服部緑地で地域・企業とともにつくる 新しい価値「パークライフ」

～公園経営とエリアブランディングの視点に立ったパークマネジメントの実践～

株式会社ヘッズ 田中 康・野村はな
一般財団法人大阪府公園協会 柿谷武司・竹田和真

私たちは、北摂地域の貴重な資産である「服部緑地」の資源を最大限に活かした管理や利用者サービスの提供を通じて、北摂エリアらしい健康的でこころ豊かな暮らし『服部緑地パークライフ』の創造・提供をコンセプトに、服部緑地の活性化および北摂エリアのブランドイメージの向上を目指したパークマネジメントに取り組んでいる。

コンセプトの実現に向けては、「公園を経営する」という発想に立ち、4つのステップからなるスパイラル

サイクル『グリーンエンジン』（右下図参照）を構築し、産官学民の「投資」を集めながら、魅力あるサービスとしての『パーク・アクティビティ』を生み出し、地域へ「還元」する取り組みを続けている。

これまで、『服部緑地「みどり・文化・地域」を育てる協議会』と『服部緑地あすなろプロジェクト』の2つのプラットフォームを運営し、服部緑地を取り巻く数多くのステークホルダーと年月をかけて交流しながら、課題や理想を共有し WIN-WIN の関係を築いてき



服部緑地で地域・企業とともにつくる新しい価値「服部緑地パークライフ」のシーン

作品概要

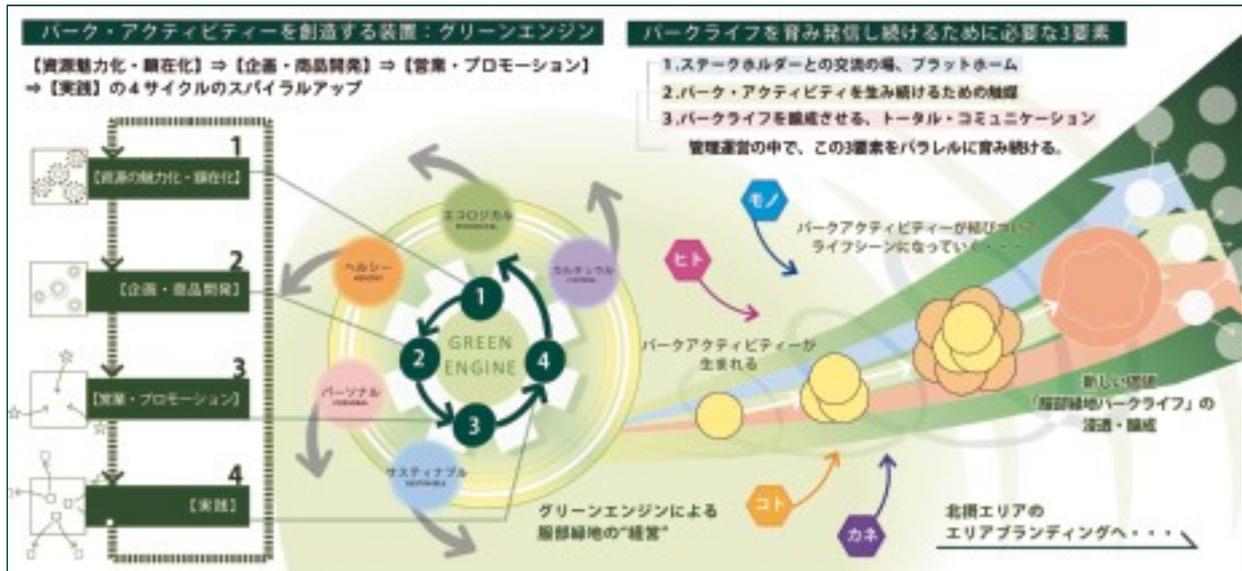
作品名：服部緑地で地域・企業とともに生み出す新しい価値「パークライフ」
 ～公園経営とエリアブランディングの視点に立ったパークマネジメントの実践～
 対象地：大阪府営服部緑地 面積126.3ha
 発注：大阪府・服部緑地指定管理グループ
 事業目的：服部緑地のパークマネジメントプランの確立と実践からのフィードバック
 事業体制：服部緑地は大阪府営公園であり、服部緑地指定管理グループが指定管理者として管理運営業務を行っている。服部緑地指定管理グループの代表企業である一般財団法人大阪府公園協会と、同協会よりコンサルティング業務を受託した株式会社ヘッズは、継続的な共同研究によりパークマネジメントプランの検討を行っている。
 事業期間：平成22年4月～平成25年3月

作品評

この作品は、「パークマネジメントのあり方」について、服部緑地という実在の公園を用いて実践している、良いモデルである。パークマネジメントのビジョン、例えば、公園や公園が立地している地域のブランド化またはバリューアップ、公園を活用した充実したライフスタイルの提供、公園活動における地域や企業と協働等々の内容が、具体的に実践され、解りやすく解説されている。
 特に、説明資料では、パークマネジメントを実践するための仕組みや体制、計画と実践、情報の提供と共有、などのトータルコミュニケーションにおけるプラットフォームとしてのコンサルタントの役割が、明確に示されている。
 既に成果も見えつつあり、先駆的取組みとして高く評価され、最優秀賞となった。

た。そして、そこで生まれるアイデアや企画といった「投資」を繋ぎ導く媒体となって、服部緑地を舞台とした様々な『パーク・アクティビティ』を生み出してきた。さらには、地域住民ひとりひとりの意識を服部緑地へ向かわせ、服部緑地で実際に過ごす時間や『パーク・アクティビティ』を通じて充実感や幸福感を得ようというように、『服部緑地パークライフ』が実感を伴って浸透・定着していくことを目指して、服部緑地

の魅力を複合的に発信するためのトータル・コミュニケーションを、地域と一体となって展開している。『服部緑地パークライフ』は地域住民ひとりひとりの中に見出される「新しい価値」であり、年月をかけて醸成されていくものである。私たちは、その過程を手助けする環境と仕組みを整えながら、服部緑地が『パーク・アクティビティ』を生み出す文化装置であり続けるよう、これからも実践を続けていく。



上：公園経営とエリアブランディングの視点に立ったマネジメントの仕組み「グリーンエンジン」
 下：実践によるこれまでの成果（左：パーク・アクティビティの創出例／右：トータルコミュニケーションの展開例）